

# スマイルフォアオール・ミーティング 開催要項

## ～社会的養護を要する子どもたちに、いま、なぜ体験が必要なの?～

### ■趣 旨

国立山口徳地青少年自然の家では、平成19年度より社会的養護を要する子供たちの支援プログラムの開発に取り組み、実践を積み重ねてきました。今後さらに、子どもたちの「今」の生活がもっとワクワクするようになるために、また、子どもたちが「自分の将来」を楽しく思い描けるようになるために、多様な体験の機会をどのように提供するかを考えることは、支援に関わる大人にとって重要なポイントです。

このミーティングでは、社会的養護を要する子どもたちの長期キャンプに参加した里子や里親、様々な体験活動に携わった大学生や大人によるトークセッションを通して、社会的養護を要する子どもたちにとって「体験」の価値を考え、ミーティングの参加者同士で学び合うことによって、分野を超えたつながりをつくるきっかけとします。

### ■ねらい

- 「知る」 …体験活動に参加した人・携わった人が感じた素直な「思い」から、体験が社会的養護を要する子どもたちと、そこに関わる大人にどのような価値があったのかを知る。
- 「つながる」 …参加者同士で考え、関わりあうグループワークを通して、分野を超えた仲間を作ります。
- 「やるきになる」 …体験談を聞いたり、参加者自身の体験したりすることを通して、「こんなことができそう」、「あんなことやってみたい」とやる気になります。

■主 催 国立山口徳地青少年自然の家

■後 援 山口県・島根県・広島県・福岡県教育委員会 周南市・防府市・山口市教育委員会

■日 時 平成27年2月21日(土) 10:00 ～ 22日(日) 16:00

**【1泊2日/日帰り・部分参加可】**

■会 場 国立山口徳地青少年自然の家

■対 象 児童相談所・児童養護施設職員、里親、行政関係者など社会的養護を要する子どもに関わる人、学校教員、体験活動や青少年教育団体など教育に関わる人、本テーマに関心のある大人・大学生  
40名程度

### ■日 程

2月21日(土)

9:30	受付
10:00	開会行事・オリエンテーション
10:30	<b>徳地アドベンチャープログラム体験</b> ～子どもの気持ちになって 体験してみよう～
12:30	昼食
13:30	オープニング・プログラム
	<b>会場参加型トークセッション①</b> ～キャンプ体験が、私にくれたもの～ 話題提供者： 大西 清文さん(キャンプ主催者) 荒川 美沙貴さん(ボランティアスタッフ) 中島 浪子さん(参加者の保護者) コーディネーター：井出 智博さん
18:00	夕食
19:00	<b>体験ワーク</b> ～子どもとの関わり方の視点を広げる Bodywork～ 講師：志賀 誠治さん
20:00	情報交換会
22:00	就寝

2月22日(日)

7:15	あさのつどい 朝食
9:00	<b>会場参加型トークセッション②</b> ～社会的養護を要する子供たちとの 体験活動の関わりを通して～ 話題提供者：(予定) NPO 法人 SOS こどもの村 JAPAN 学生サポーター 山口徳地 学生ボランティア 青少年教育施設 職員とボランティア コーディネーター：大西 清文さん
12:00	昼食
13:00	<b>全体会・学びの整理</b>
	・みんなの疑問にみんなで答える ・これから自分にできること
15:30	クロージング・閉会行事

### 【トークセッション①】

#### 「キャンプ体験が、私にくれたもの」

平成 23・24 年に、九州ぼうけん王が児童養護施設で生活する子どもたちを対象に、アドベンチャートレック（9泊10日無人島キャンプ）を行いました。

そのキャンプの学生ボランティアだった荒川さん（あらちゃん）と、キャンプ参加者の保護者の中島さん。当時のキャンプをふりかえり、10日間のキャンプ体験が各々にもたらした影響や、変化のきっかけを探ります。

### 【トークセッション②】

#### 「社会的養護を要する子供たちとの体験活動の関わりを通して」

児童相談所や児童養護施設、里親・里子など、社会的養護を要する子供たちを対象にしたキャンプや様々な体験活動が、全国各地で広がっています。

ここでは、それらを企画・参画した学生や青少年教育施設職員により、その楽しさや苦勞したことなど、それぞれの立場や視点から素直に感じたことを語ってもらいます。

### ■【インタビュー】

#### **大西 清文（おおにし きよふみ）さん**（福岡県/九州ぼうけん王 主宰）

九州ぼうけん王主宰。福岡県内を中心に、児童養護施設や社会的養護を要する子供たちへワクワク・ドキドキ・キラキラするような体験活動をプロデュースしている。また、それを支えるおとなたちを支援する取り組みを進めている。

#### **井出 智博（いで ともひろ）さん**（静岡県/静岡大学教育学部 准教授）

専門は臨床心理学。大学では教員養成に携わっており、研究や実践のテーマは社会的養護を要する子どもたちの心理的支援です。従来の相談室で行われる心理療法だけではなく、自立支援の一環として子どもたちの毎日や将来を楽しくすることについても考えたいと思い、子どもたちの日々の生活を通して心理的支援を行っています（生活臨床）。

今は大学での仕事に加え、乳児院・児童養護施設のスーパーバイザーとして日々駆け回っています。

### ■【全体ファシリテーター】

#### **志賀 誠治（しが せいじ）さん**（広島市/人間科学研究所 所長）

1979年広島大学教育学部（教育学講座）卒業後、1980年に社団法人広島県地区衛生組織連合会入社（現：財団法人広島県環境保健協会）。1994年同会退職後、人間科学研究所を設立し所長に就任。環境、健康、福祉、文化などを切り口に、市民参画・協働のまちづくりや持続可能な地域づくりの支援活動を行っています。

### ■参加費（当日受付にて集金、部分参加の参加費については個別お問い合わせください）

#### 全日程参加 3,000円

内訳：食費 2,290円・シーツ代 200円・教材費 320円・保険代 120円

保険は国内旅行傷害保険です。（死亡・後遺障害 120万円、入院 1,500円/日、通院 1,000円/日）

### ■申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたは Eメールにてお申し込みください。

部分参加をご希望の方は、お問い合わせください。

### ■持ち物

お申込みいただいた後、参加決定通知と一緒にご連絡いたします。

### ■送迎・前後泊について

・JR新山口駅ー自然の家間を送迎いたします。希望される方は、参加申込書にご記入下さい。

21日（土） 8:00 JR新山口駅 → 8:30 山口大学 → 8:50 山口県立大学 → 9:50 自然の家

・前後泊をご希望される方は、個別連絡いただきますようお願いいたします。

### ■問い合わせ先

国立山口徳地青少年自然の家

担当：宮本 慎也（企画指導専門職）

〒747-0342 山口県山口市徳地船路 668 「スマイルミーティング」係

TEL：0835-56-0112

FAX：0835-56-0130

URL：<http://tokuji.niye.go.jp>

Eメールアドレス：s.miyamoto@niye.go.jp

**【参加申込書】スマイルフォアオール・ミーティング**  
 FAX: 0835-56-0130 メール s.miyamoto@niye.go.jp

記入日 平成27年 月 日

ふりがな 氏名		性別	男・女
生年月日	西暦 年 月 日	年齢	
所属 (勤務先)			
住所	〒  □自宅 □勤務先等		
電話番号	日中連絡取れる番号をお願いします。		
Eメールアドレス	参加決定等のご連絡はメールで送付いたします。 携帯電話会社のアドレスの場合、@niye.go.jp を受信許可してください。 <input type="checkbox"/> 携帯・スマートフォン <input type="checkbox"/> パソコン		
参加日程	<input type="checkbox"/> 全日程参加 <input type="checkbox"/> 部分参加 (詳細: _____ )		
来所手段	チェックマークを入れてください。 <input type="checkbox"/> 自家用車、 <input type="checkbox"/> 公共交通機関、 <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) <input type="checkbox"/> 送迎希望→ <input type="checkbox"/> 新山口駅 <input type="checkbox"/> 山口大学 <input type="checkbox"/> 山口県立大学 <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) <hr/> <input type="checkbox"/> 前泊を希望する <input type="checkbox"/> 後泊を希望する		
●氏名・所属等の情報を名簿に記載してもよろしいですか？【回答ない場合は、掲載しません】 → <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 条件付きで ( _____ )  ●その他、本所に伝えたいことなど、あればどうぞ。			

**★ぜひ教えてください★**

本事業で得られたことを現場に持ち帰って実践につなげてほしいと考えています。そこで、事前にみなさんにおうかがいしたいと思いますので、記入のご協力をお願いします。

<p>●本事業で何を得て帰りたいですか？また、どんなことを期待していますか？</p>   <hr/> <p>●今回の本事業で取り上げてほしい、みなさんに聞いてみたい、共有してみたい話題・課題・テーマがあれば教えてください。</p>
--

※ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。  
 事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業に関する報告書や広報等に使用することがありますので、ご了承ください。